

展覧会開催概要

【展覧会名】

ハービー・山口 —軌跡 1970～2010— Trace of My Journey

【会 期】 2011年2月11日(金・祝)～4月3日(日)
【会 場】 彫刻の森美術館:アートホール
【講 演】 2011年3月20日(日)13:00～(アートホール)

【主 催】 彫刻の森美術館
【後 援】 産経新聞社
【協 賛】 ライカカメラジャパン株式会社
【協 力】 サンケイ総合印刷株式会社／タイムデザイン
【プリント協力】 キヤノンマーケティングジャパン株式会社
【出品点数】 109点

【趣 旨】

彫刻の森美術館は、ハービー・山口の撮影によるカレンダーを2011年に発行しました。それを記念して、彼の40年に及ぶ活動を紹介する「ハービー・山口 —軌跡 1970～2010—」展を開催します。

ハービー・山口は大学時代に本格的に写真を撮り始めました。卒業と同時に冒険を求め1973年に渡英し、約10年間を過ごします。折からのパンクムーヴメントとその後のニューウェーブを実体験し、生きたロンドンの姿を写真に収めます。また、多くのロックミュージシャンと交流を持ち、彼らの素顔が写ったポートレートで高い評価を受けました。帰国後も、日本とヨーロッパを往復し、アーティストから市井の人々までにレンズを向け、すべての生きる人間に共感を抱きつつ、飾らぬ清楚なモノクローム作品を撮り続けました。写真の他に、エッセイの執筆、ラジオやテレビのパーソナリティ、作詞なども手がけ、幅広い活動を行っています。

本展では70年代から始まり、当館の風景を収めた2010年までの写真を、7つのセクションに分けて展示します。ハービー・山口のスナップ・ポートレートという表現の中に、他者への暖かいまなざしと理解、すべての人に備わっている可能性を感じとっていただけでしたら幸いです。



【主な写真展】

- 1977 「QUALITY OF LIFE」 National Theatre / London
1979 「HERBIE YAMAGUCHI PHOTOGRAPHY」 Riverside Studio / London
1984 「CLIMB」 渋谷パルコ・ギャラリー VIEW
1994 「LEICA LIVE LIFE 福山雅治ツアードキュメント写真展」 渋谷パルコ他巡回
2001 「山崎まさよし&ハービー・山口 旅の瞬間」 有楽町阪急
2002 「peace」 ライカ・ギャラリー東京/銀座
2006~7 「PHOTO STAGE〜記憶の箱庭」 森アーツギャラリー/六本木ヒルズ
2007 「PHOTO STAGE II 〜出会いの記憶」 植田正治写真美術館/鳥取
2008 「PHOTO STAGE III 〜残響」 長崎県美術館
2009 「『ポートレイツ・オブ・ホープ』〜この瞬間を永遠に〜」 川崎市民ミュージアム
2010 「1970年、二十歳の憧憬」 品川キャノンギャラリー S



① 空の下のものがたり 2月 箱根 2010



② Bright Morning 1983



③ 夏、一瞬の風 2004

【主な写真集】

- 『LONDON—AFTER THE DREAM』(流通通信社/1985年)
『DATE』吉川晃司写真集(扶桑社/1987年)
『WHAT'S』本田美奈子写真集(別冊スコラ41・講談社/1987年)
『LEICA・LIVE・LIFE』福山雅治写真集(ソニーマガジンズ/1994年)
『代官山17番地』(アップリンク/1998年)
『尾崎豊:ラヴ・ウェイ』(光栄/1998年)
『DISTANCE—LEICA・LIVE・LIFE』福山雅治写真集(アミューズブック/1999年)
『TIMELESS IN LUXEMBOURG』(在ルクセンブルク大公国大使館/1999年)
『bridge22—山崎まさよし × ハービー・山口』(ソニーマガジンズ/2000年)
『[peace]』(アップリンク/2003年)
『優しい時間—富良野にて』(フジテレビ出版/2005年)
『HOPE 空、青くなる』(講談社/2009年)
『1970年、二十歳の憧憬』(求龍堂/2010年)

リリース情報の詳細および掲載画像等をご希望の方は、下記担当までご連絡ください。

※画像は、メールにてデータをお送りいたします。

※ご掲載や放送以外の目的での写真のご利用はご遠慮ください。

※事前に記事原稿を拝見させていただけますよう、お願いいたします。

〈お問い合わせ先〉 彫刻の森美術館 広報部

TEL.0460-82-1161 FAX.0460-82-1169

〈担当〉辻井有里 tsujii@hakone-oam.or.jp